

目次

まえがき……………2

「インタビュー」

今、教育はどうあるべきか 百歳の大田堯さんに聞く 聞き手 池谷壽夫……………10

序章 民主主義と平和と教育 民研三〇年記念によせて 堀尾輝久……………20

はじめに……………20

一 問い直される民主主義……………21

二 民主主義と平和……………27

三 戦後日本の民主主義と教育……………30

第I章 民主主義教育の原理……………41

新自由主義に対抗する新たな人間観と教育観を求めて 池谷壽夫……………42

はじめに……………42

一 「資質・能力」論の特質と危険性……………43

二 〈学校企業体〉下での教員と子ども……………45

三 新自由主義に抵抗する教育的可能性……………50

四 人間が根源的にはらむ脆弱性・依存とケア……………52

おわりに——脆弱性とケアにもとづく教育……………54

憲法を学ぶ意義と学習・教育の自由 中嶋哲彦……………58

一 知識としての憲法と、実践としての憲法……………58

二 安倍政権の教育政策と憲法……………59

三 学習と教育の本質と人権性……………63

四 教育を受ける権利と教育の機会均等……………67

五 学習・教育の自由……………69

「資質・能力」規定と学力・人格を目標管理する政策の展開

——学力と人格をどう結びつけるか 佐貫 浩……………74

一 「教育目的」と「学力」の性格の変転……………75

二 「学力」把握と「資質・能力」の理論の再整理……………80

三 子どもの権利の実現と未来への変革的創造のための教育……………85

「持続可能な発展(開発)」と「教育」の結節点・共同学習 古里貴士……………92

一 自然からの揺り戻しの二〇年……………92

二 「持続可能な発展(開発)」と「教育」をどう結ぶか……………94

三 受容と承認の共同学習へ……………101

新自由主義下のジェンダー平等と平等教育の課題

——コロナ禍を乗り越えて 橋本紀子……………108

はじめに……………108

一 ジェンダー平等とセクシュアリティに関わる現状と課題……………110

二 学校におけるジェンダー平等と平等教育の現状と課題……………114

三 中学校検定教科書「道徳」にみる新自由主義的性別役割分業の刷り込み……………119

おわりに——どんな教育条件と授業実践が求められるか……………122

「民主主義の学習機会」としての道徳教育

——ジョン・デューイとガート・ビースタの議論を手がかりにして 福島賢二……………124

はじめに……………124

一 全面主義の功罪……………125

二 勝田守一の道徳論の継承的視点……………127

三 〈部分〉としての学校と、〈集合〉としての社会とを連結するもの……………130

四 世界と相互作用する経験を再現する……………133

五 「状況(文脈)」概念から道徳教育を構想する——〈関係モデルとしての道徳教育〉……………135

教育産業によってくち溶ける公教育

——「棲み分け」から「侵蝕」、そして「民営化」へ 児美川孝一郎……………140

一 過去——学校教育との「棲み分け」……………141

二 転換期——学校教育への「侵蝕」……………143

三 現在——「侵蝕」の拡大、普遍化へ……………145

四 何が教育産業による「領域侵犯」を可能にしたのか……………147

五 近未来——公教育の「融解」へ……………150

六 何が問題なのか——「災禍便乗」型の教育改革の策動のなかで……………152

第三章 地域に根ざす教育と民主主義

学校統廃合と小中一貫校問題に見る教育の住民自治 山本由美……………158

- 一 増加する新自由主義教育改革のもとでの学校統廃合……………158
- 二 新自由主義教育改革における学校統廃合……………163
- 三 対抗軸の形成……………167
- 四 教育的効果、デメリットを検証することの重要性……………168
- 五 「学校自治」と「住民自治」の課題……………171

いま地方自治体に求められる教育行政とは——新型コロナと学習権 朝岡幸彦……………174

- 一 新型コロナに向き合うために……………174
- 二 新型コロナへの政府の対応と教育……………176
- 三 学校一斉休校問題の背景と評価……………185
- 四 ウイズ・コロナのもとでの学習権……………188

第四章 教育課程づくりの民主主義

縛りをほぐす教育課程づくりの創造的実践を 梅原利夫……………192

- 一 新自由主義下の教育課程政策……………193
- 二 学力の法定化と教育課程の構造変化……………195
- 三 実践を窒息させる授業・教育課程のスタンダード化……………198
- 四 新型コロナ禍での画一化と対抗する実践……………200
- 五 AIやICTで「個別最適化された学び」は可能か……………202
- 六 自主性が発揮された創造的な実践を……………206

コロナ禍の教育課程編成と方法 八木英二……………208

- はじめに……………208
- 一 オンラインとオフラインの学習……………209
- 二 教育方法上の工夫——ICT利用とAL……………212
- 三 交流の場づくり(表現を組織化する意義)……………213
- 四 新自由主義のキイ・コンピテンシー活用……………217
- おわりに……………221

著者紹介……………224